

2025年度

松山市立伊台保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～2月20日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」の保育理念に則り、子どもの健康な身体とわくわくするような好奇心を大切に、子ども主体の保育を行った。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの興味・関心に目を向け、やってみようとする気持ちを大切に、見守り、共感しながら意欲や肯定感を育ててきた。また、人との関わりのなかで気持ちの相違に気づき、互いを認め合いながら、“自分らしさ”を見つけ成長していく過程も大切にしてきた。
保護者に対する支援	一日が気持ち良くスタートできるよう、全職員が明るい挨拶に心がけ、日常の対話を大切に、相談しやすく安心できる関係づくりに努めた。園と家庭の様子を連絡アプリで伝え合い、子ども理解が深まっている。親子活動や参観日を親と子・親同士が繋がる貴重な場として、更に工夫したい。
保育を支える組織的基盤	職員は社内・社外の研修に目的意識をもって参加し、質の向上を図った。園内研修は職員主導でテーマを決めて学び合い、共通理解を高めあった。ミーティングを貴重な場と捉え、意見を出し合い、全職員が同じ方向性をもって協力しあうチームとなっている。

総評
<p>伊台保育園では、朝夕、明るい挨拶に心掛け、保護者同士も和やかに挨拶を交わしています。子どもの周りの私たち大人が良好な関係を作り、あたたかいまなざしで見守ることが安心感を育み、子ども一人ひとりがのびのびと自分を表現しています。これからも“おもいっきり遊び、おもいっきり学ぶ”子どもをまん中に、集うみんなが笑顔になる、そんな居心地の良いあたたかな保育園であり続けていきます。</p> <p>それぞれが自分の役割を自覚し、子どもにとって最も良いことを最優先に考え、協力しながら気持ち良く保育を行っています。これからも、保護者と職員が心を通わせ、ともに子どもの成長を喜び、信頼される保育園づくりに努めていきます。</p>